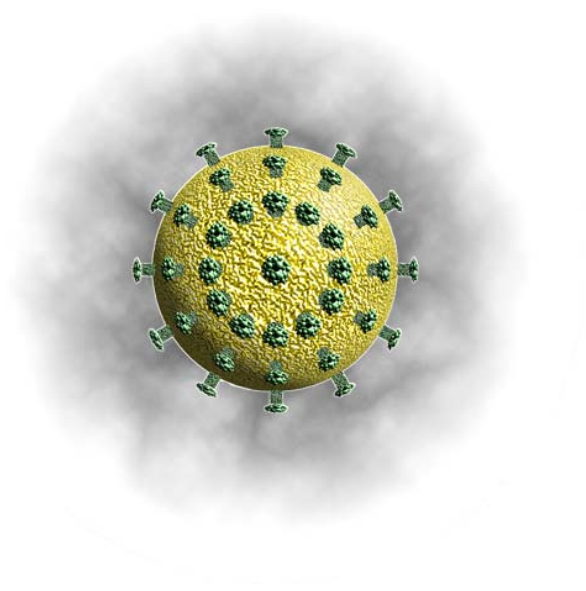


# 岡山県におけるHIV感染症の現状



エイズ治療中核拠点病院



川崎医科大学血液内科  
和田秀穂

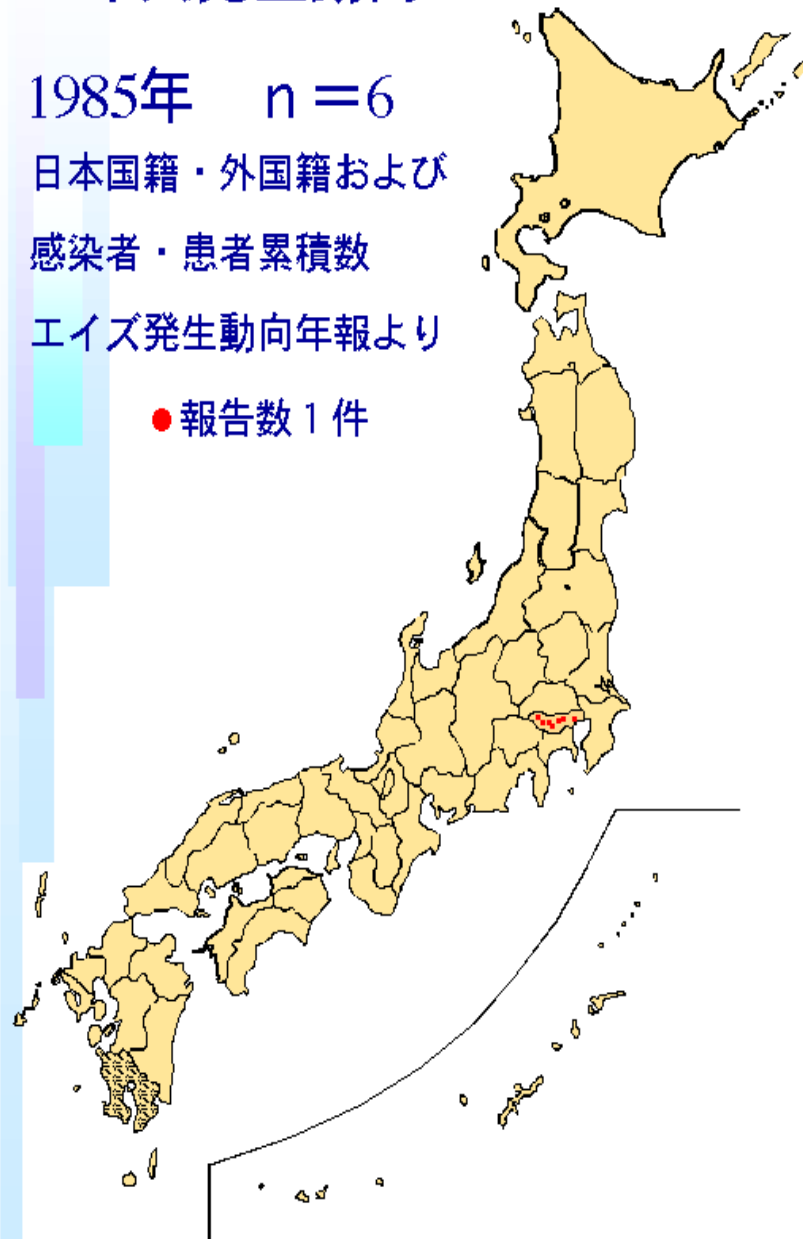
# エイズ発生動向

1985年  $n=6$

日本国籍・外国籍および  
感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



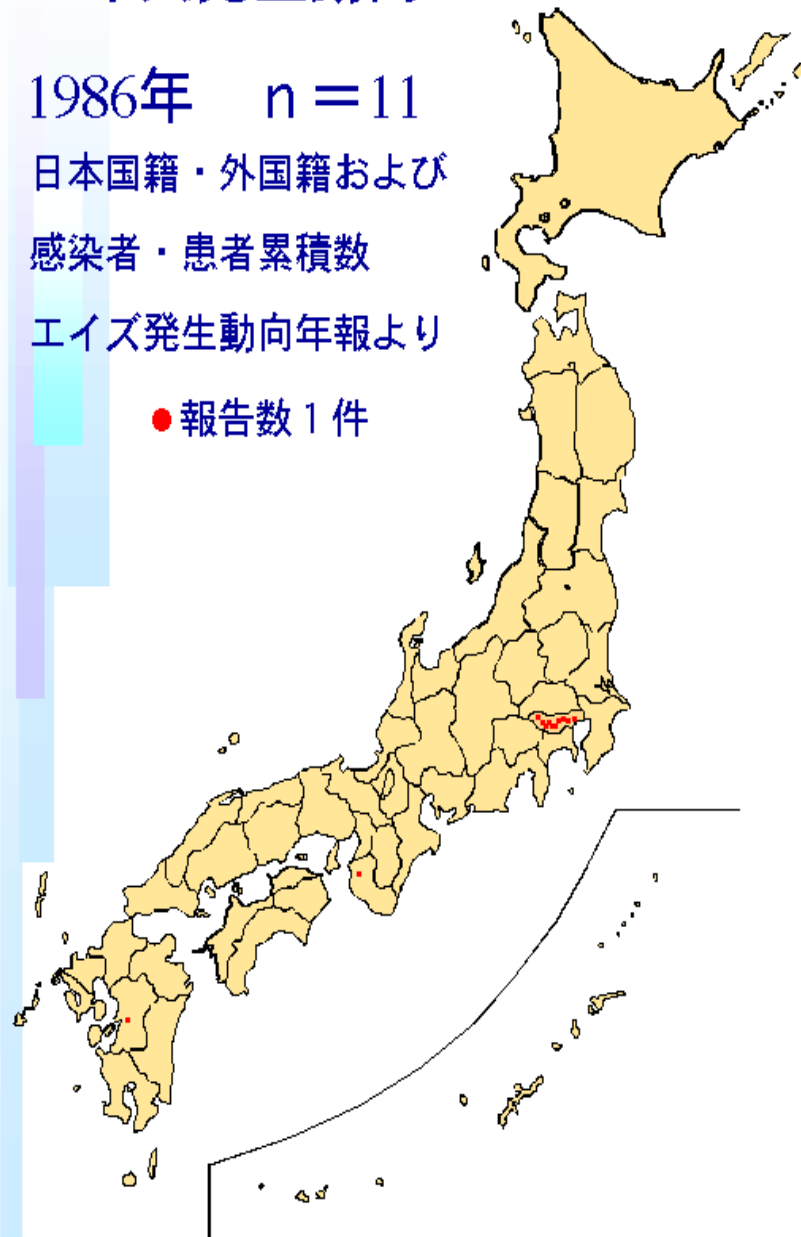
# エイズ発生動向

1986年  $n = 11$

日本国籍・外国籍および  
感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

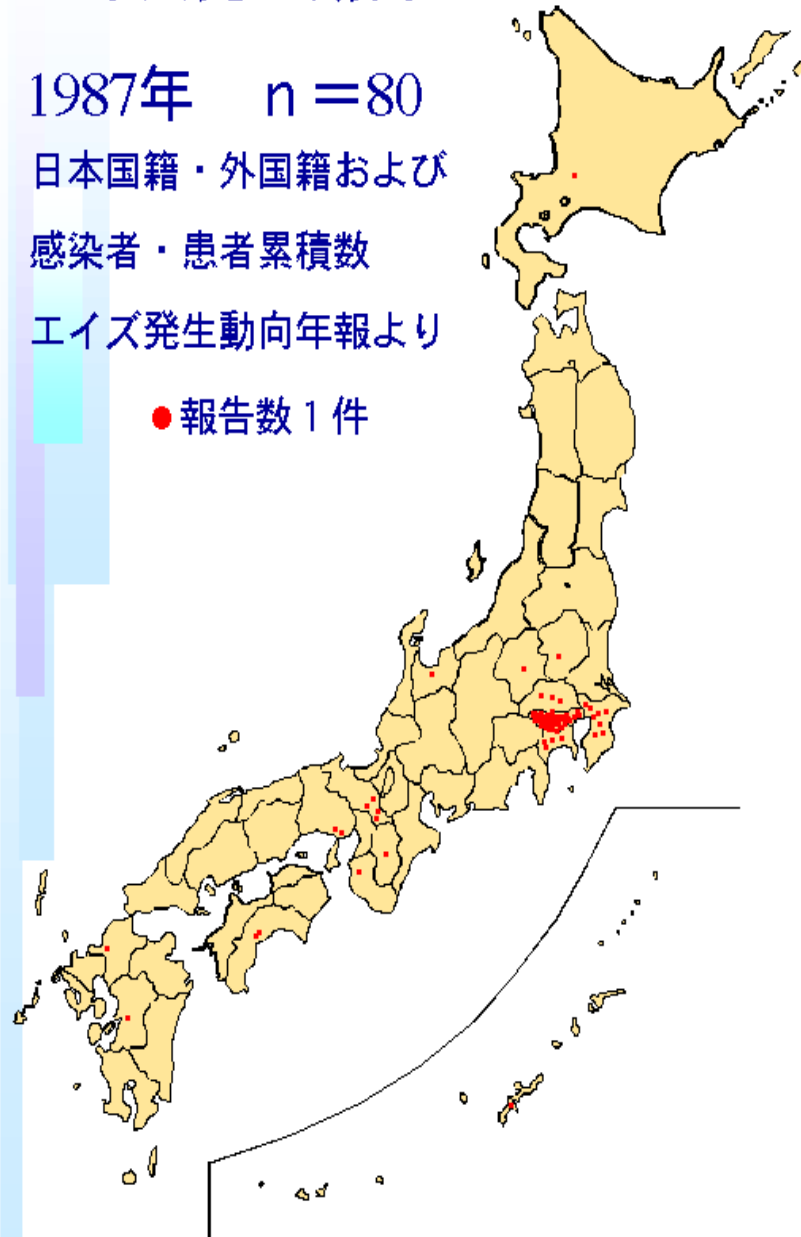
# エイズ発生動向

1987年  $n=80$

日本国籍・外国籍および  
感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

# エイズ発生動向

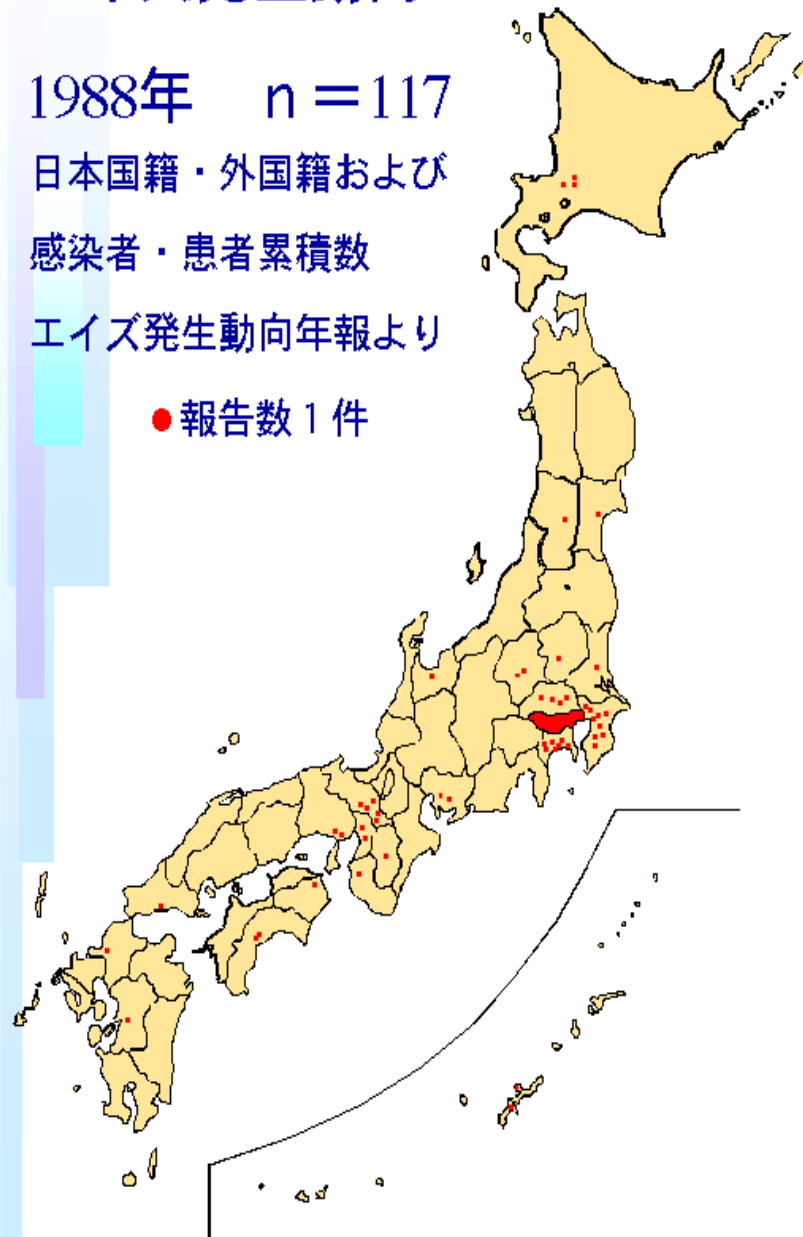
1988年  $n = 117$

日本国籍・外国籍および

感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

# エイズ発生動向

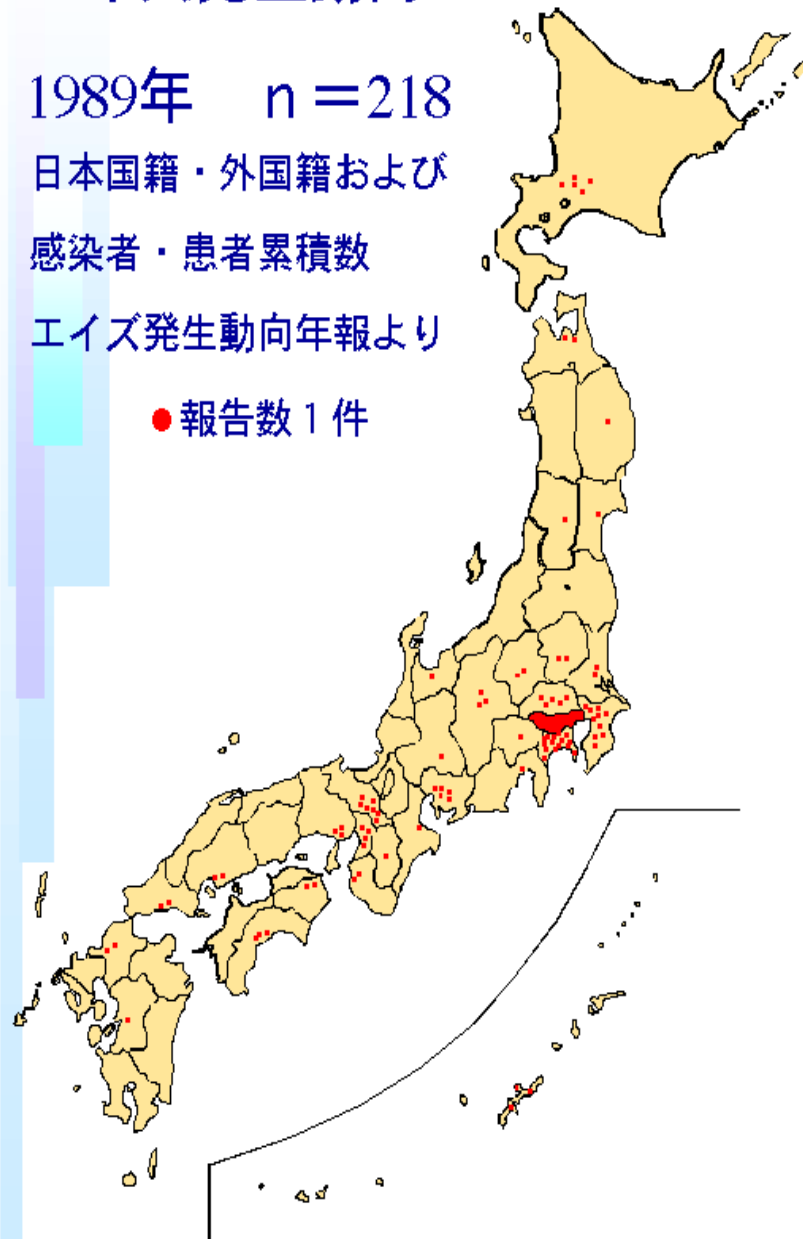
1989年  $n=218$

日本国籍・外国籍および

感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

# エイズ発生動向

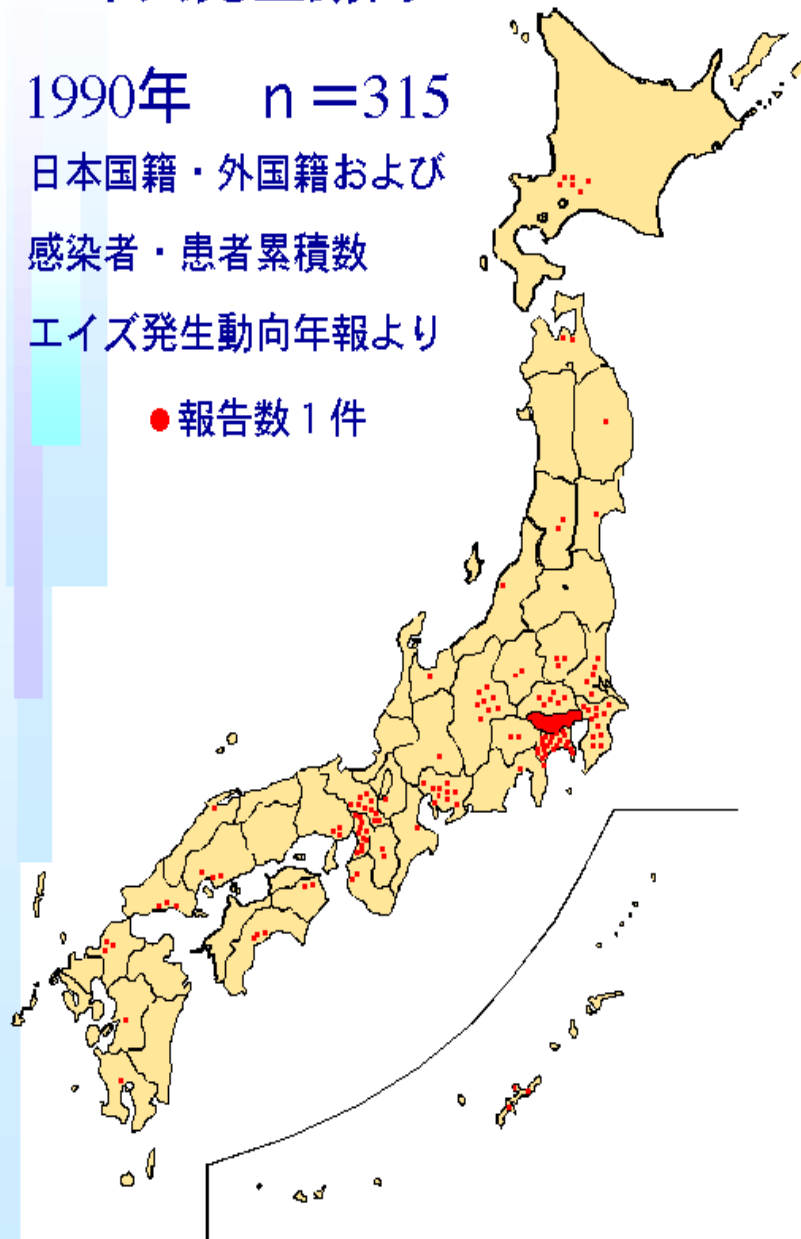
1990年  $n=315$

日本国籍・外国籍および

感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

# エイズ発生動向

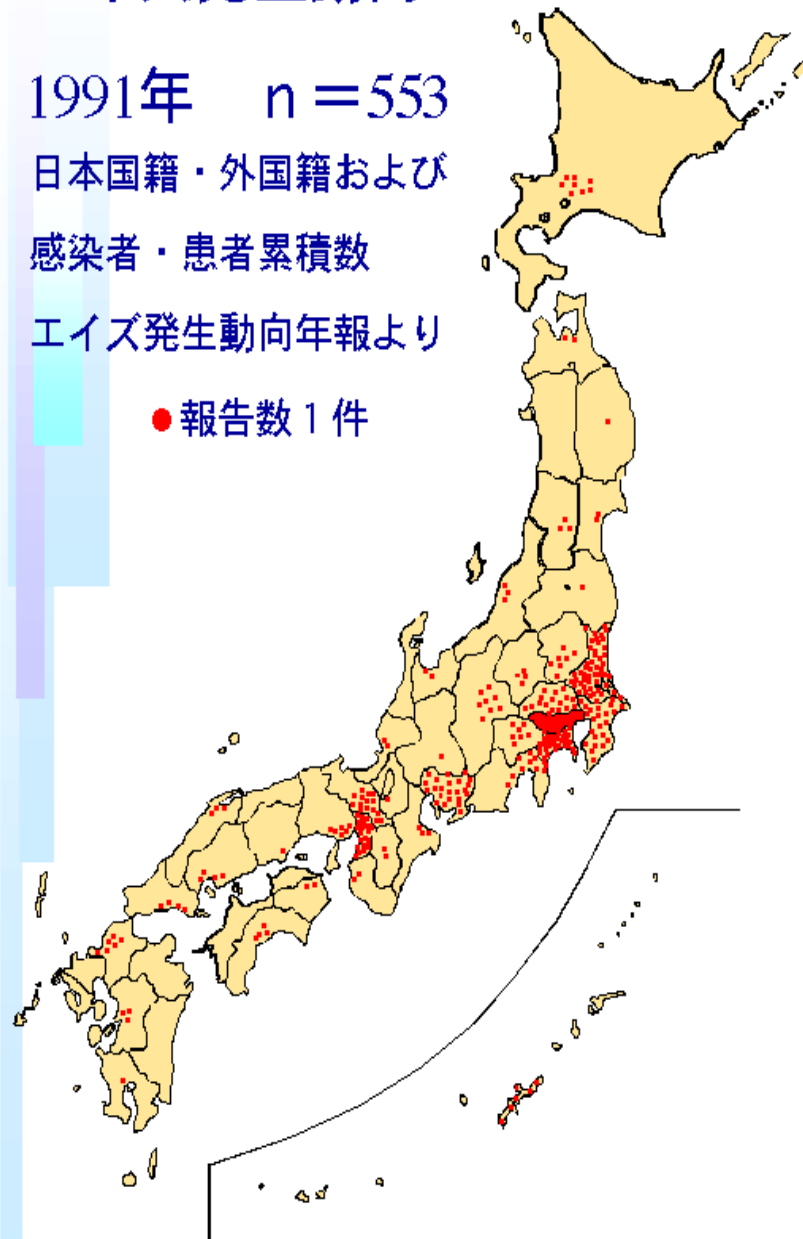
1991年  $n = 553$

日本国籍・外国籍および

感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 



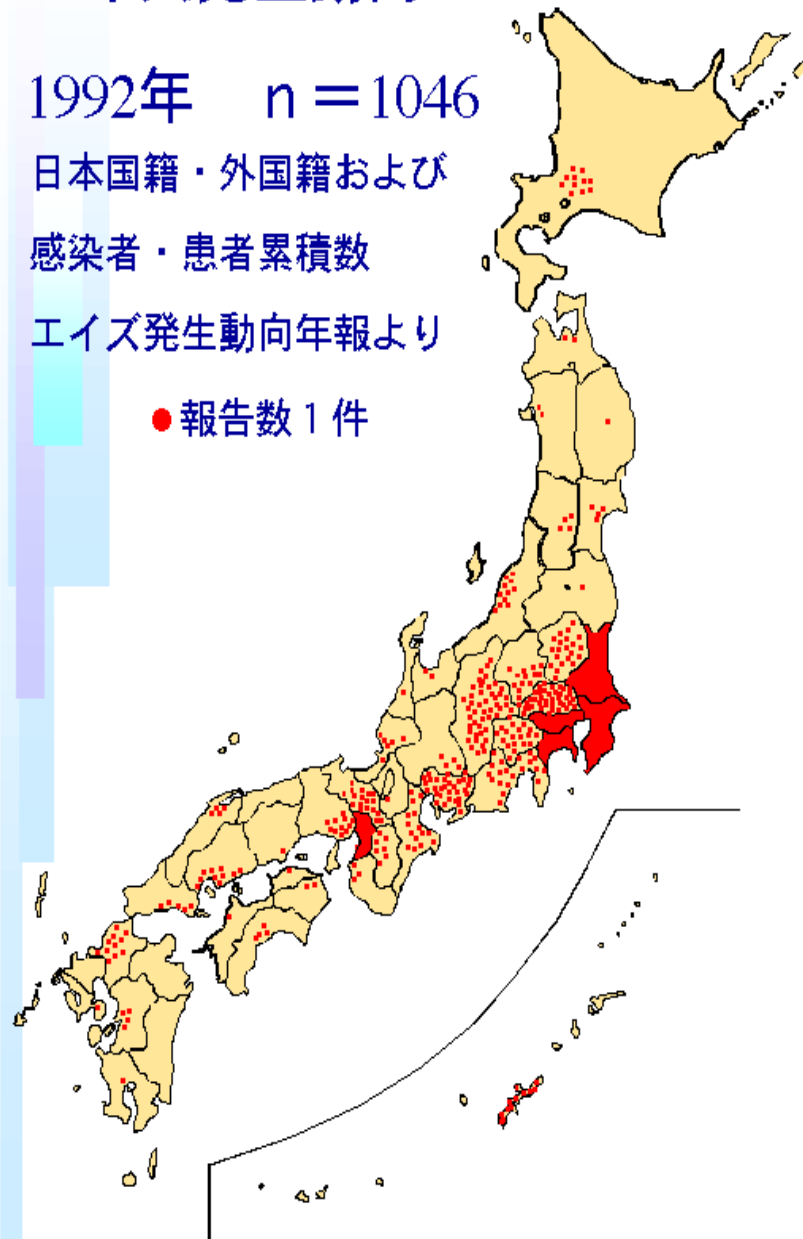
# エイズ発生動向

1992年  $n = 1046$

日本国籍・外国籍および  
感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

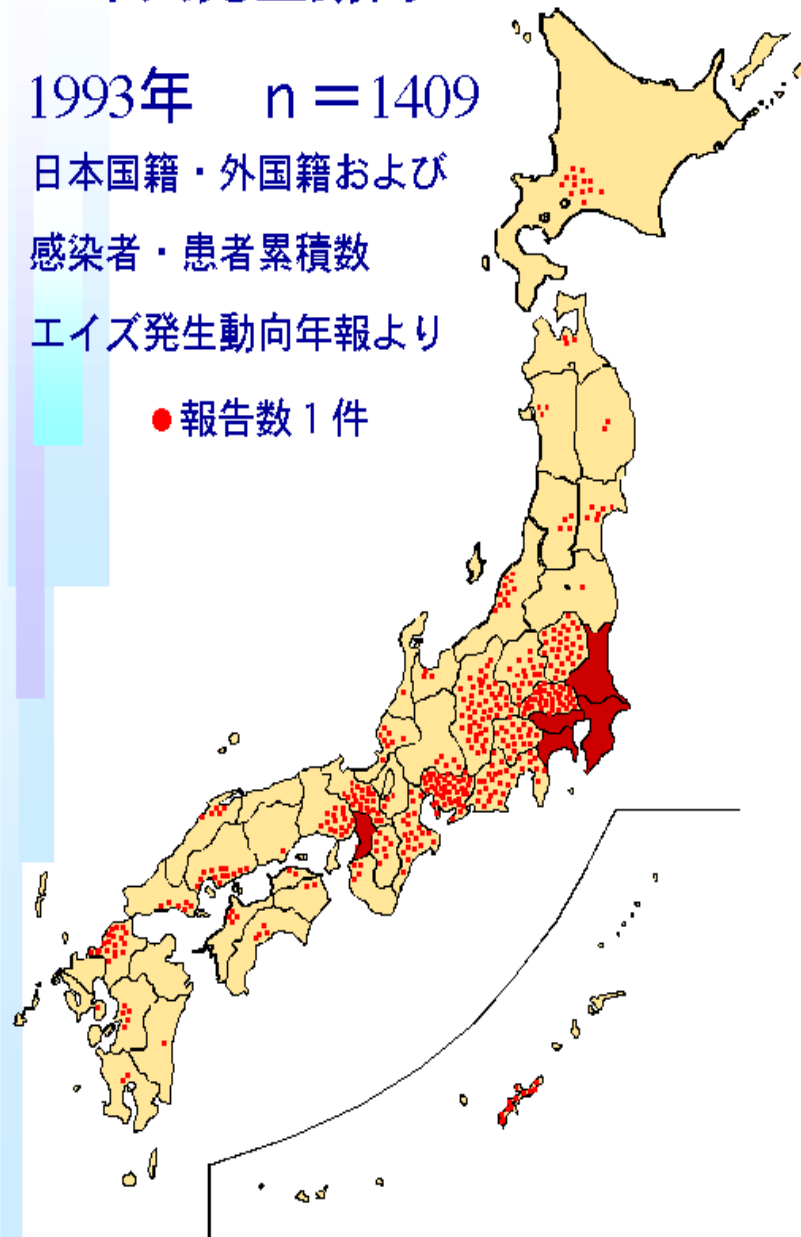
# エイズ発生動向

1993年  $n = 1409$

日本国籍・外国籍および  
感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

# エイズ発生動向

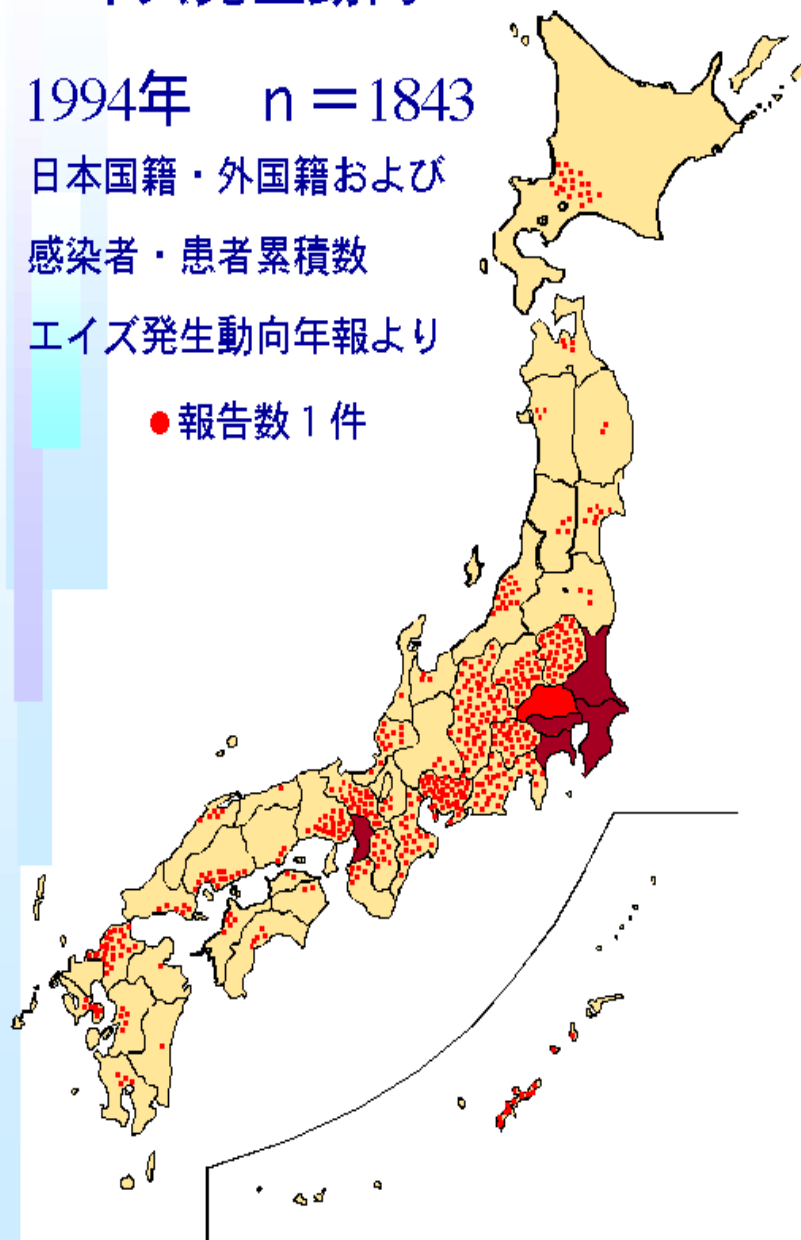
1994年  $n = 1843$

日本国籍・外国籍および

感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

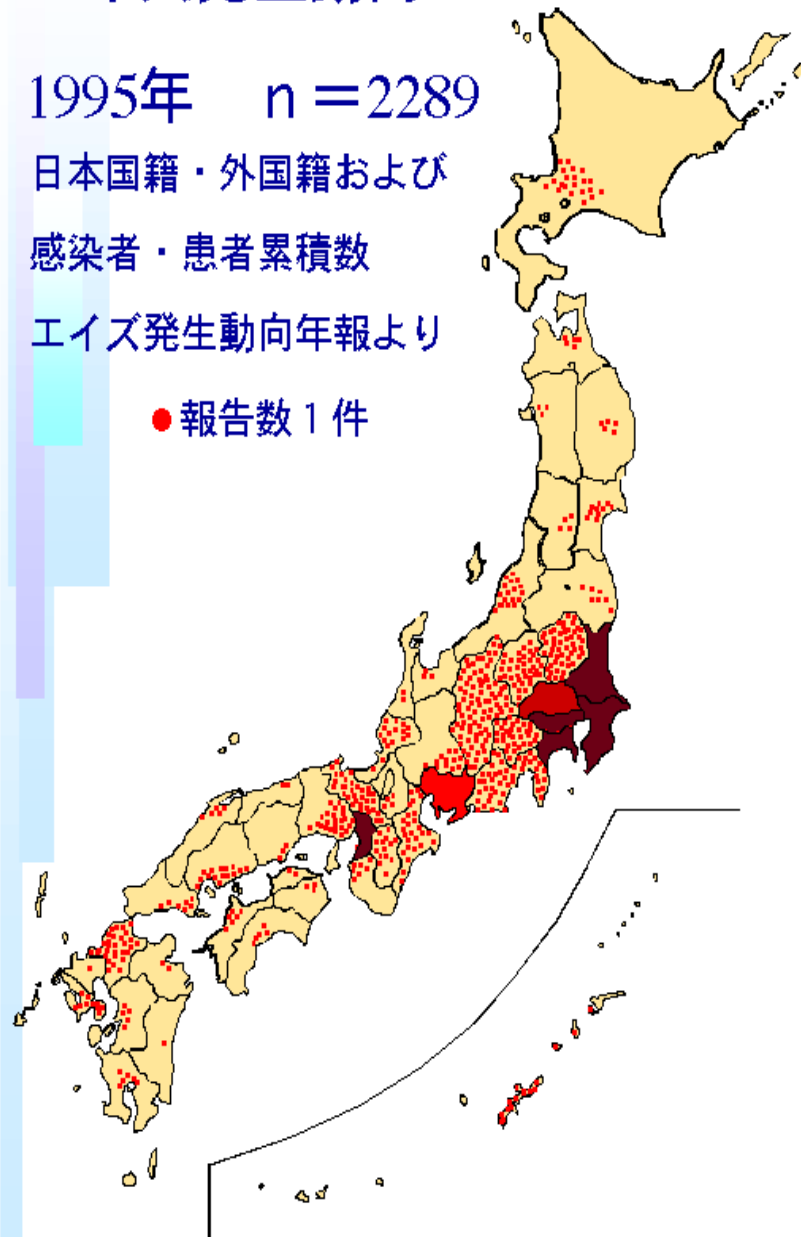
# エイズ発生動向

1995年  $n = 2289$

日本国籍・外国籍および  
感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

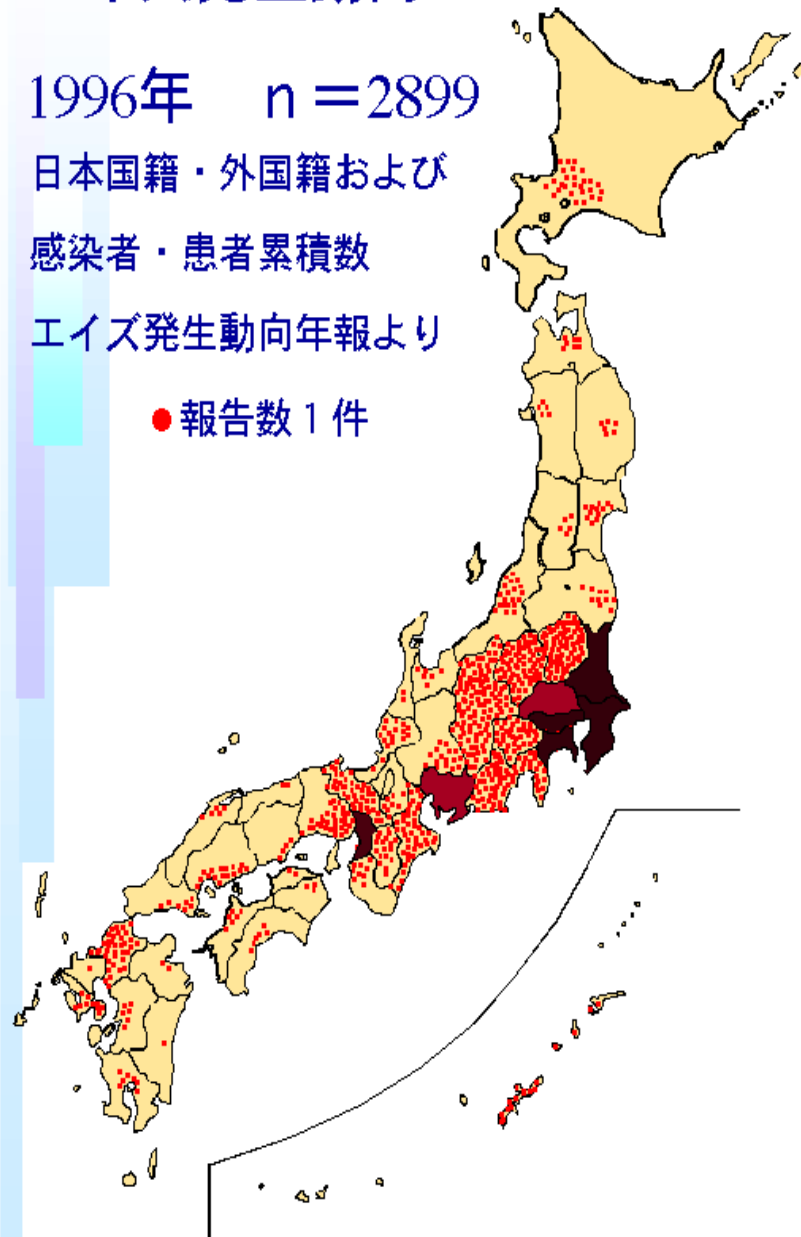
# エイズ発生動向

1996年  $n = 2899$

日本国籍・外国籍および  
感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

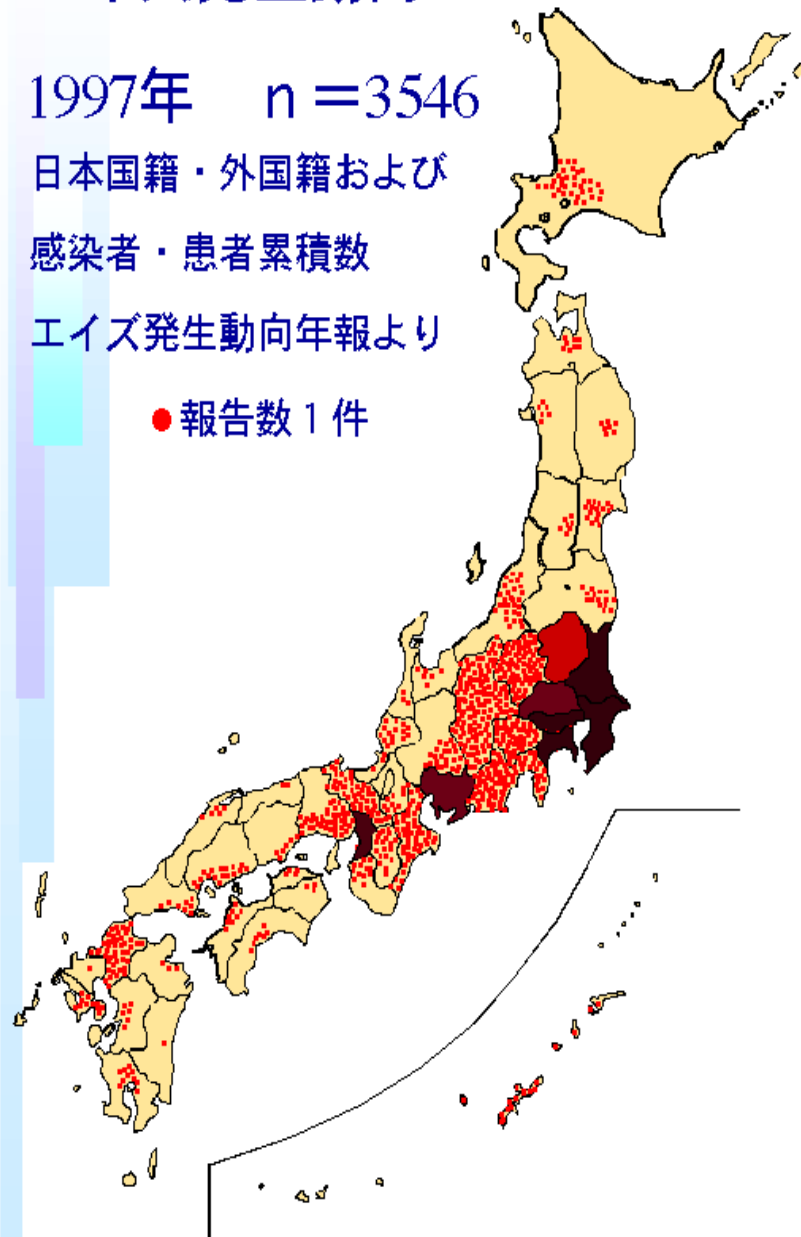
# エイズ発生動向

1997年  $n = 3546$

日本国籍・外国籍および  
感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

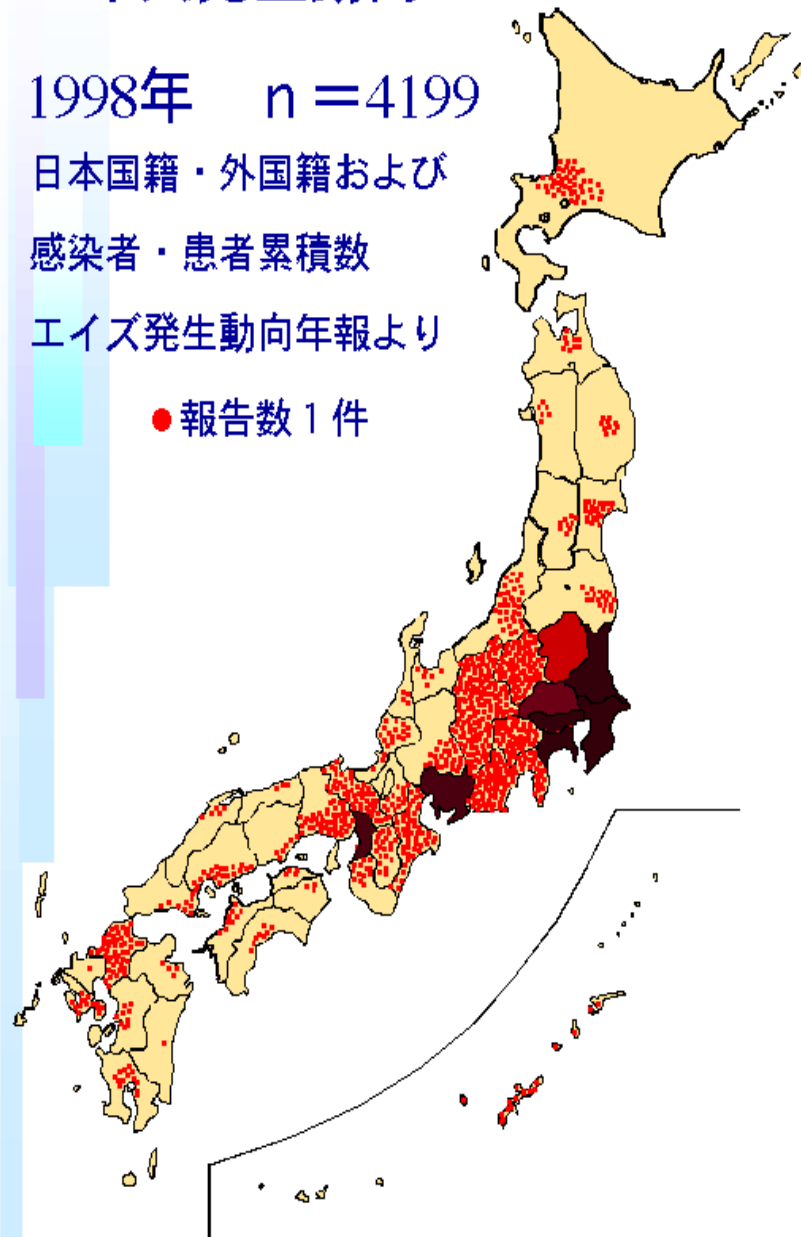
# エイズ発生動向

1998年  $n = 4199$

日本国籍・外国籍および  
感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

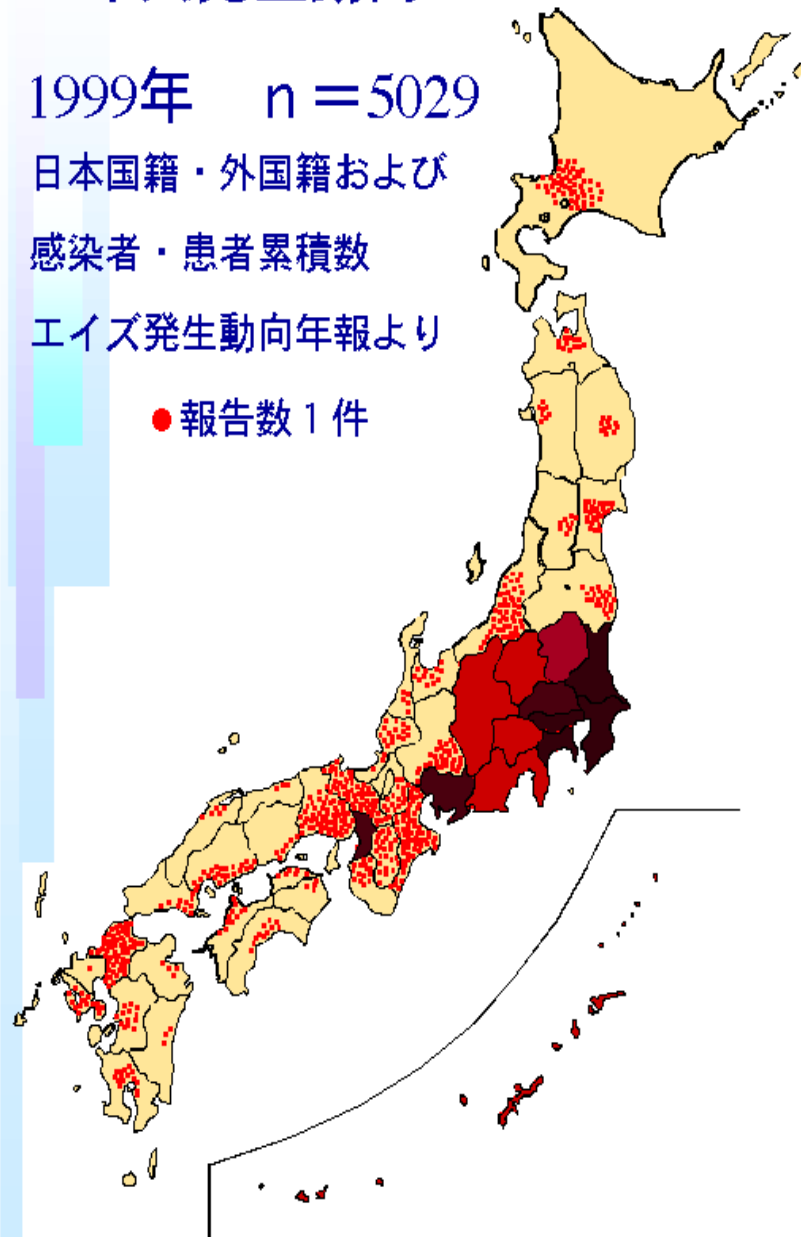
# エイズ発生動向

1999年  $n = 5029$

日本国籍・外国籍および  
感染者・患者累積数

エイズ発生動向年報より

● 報告数 1 件



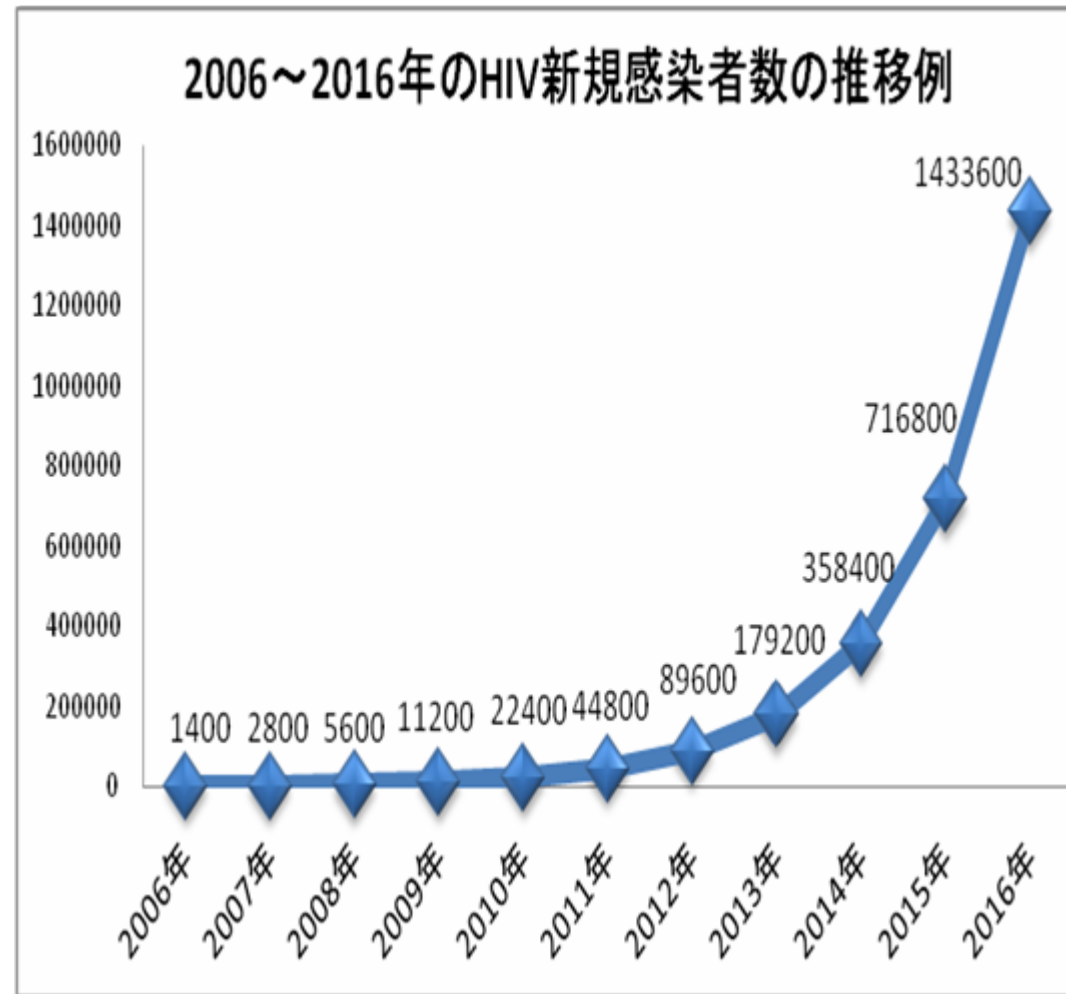
国立大阪病院臨床研究部作成

Satoshi Higasa 

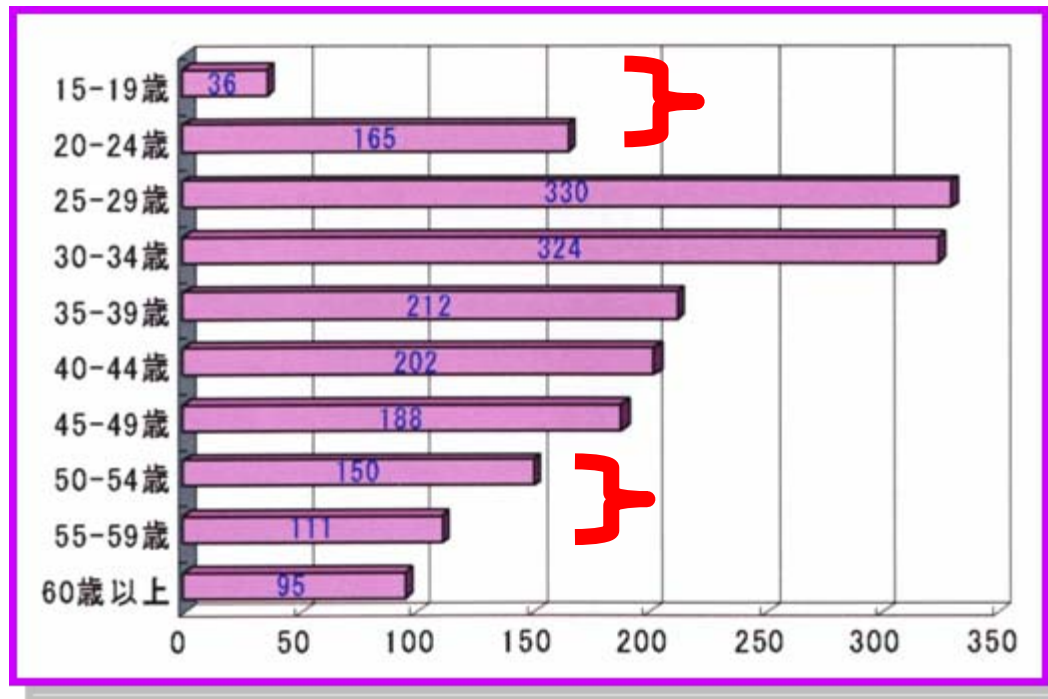


# 日本でHIVは爆発的に増えている

日本国内で毎年1年間に約10万人がHIVに感染し、2016年には新規感染者数が合計で143万3600人となり、1日平均約50人ずつの人はHIV感染者になります。



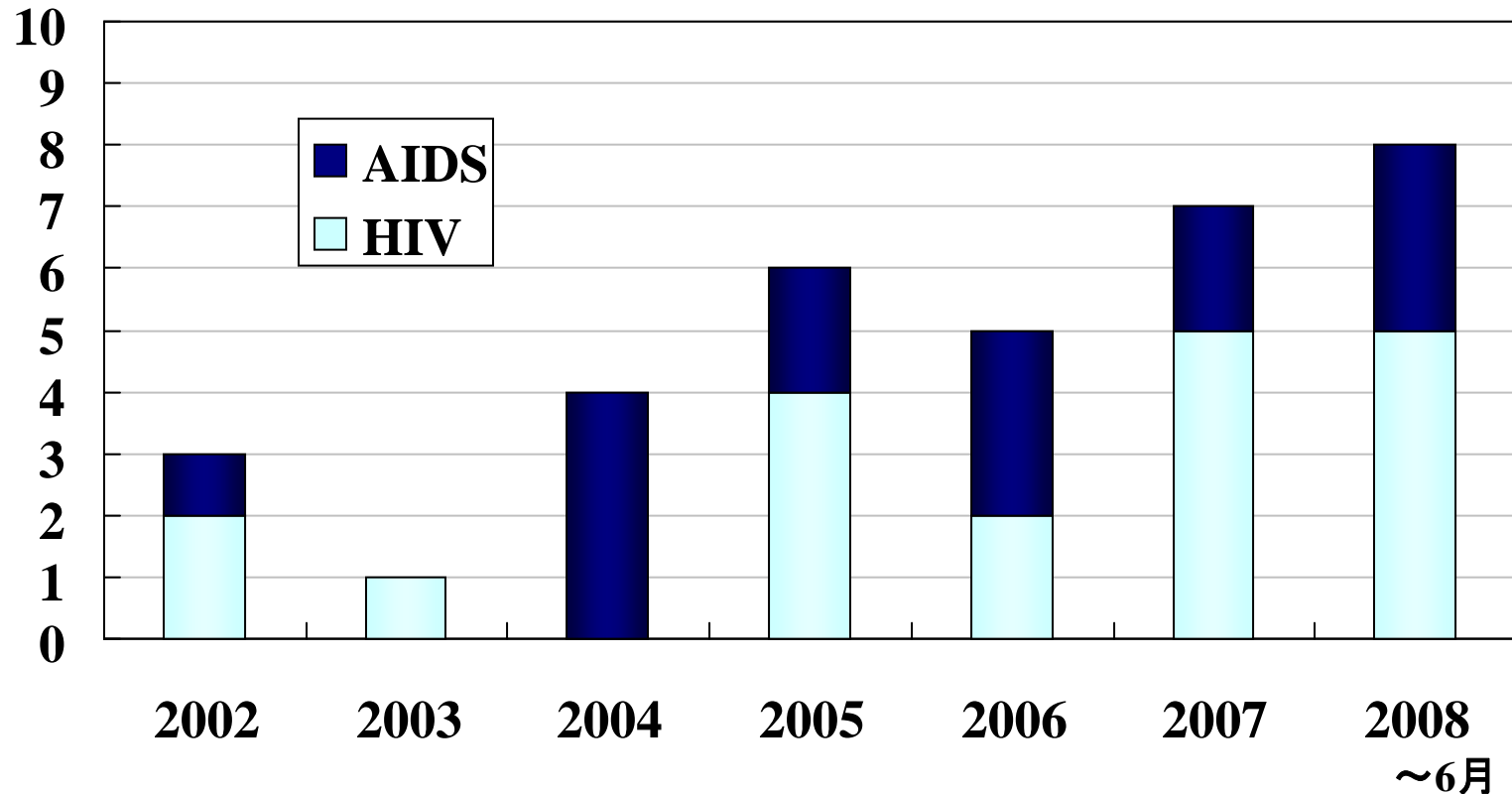
# 日本国籍異性間HIV感染者の年齢別累計



左は、異性間の性的接触によりHIV感染した日本人の累計数を年代別に表したグラフです。15-19歳では36人、20-24歳では165人、異性間の性的接触による感染が報告されており、若年層の感染が深刻化しています。また、性別構成は、他の年齢層ではほぼ8割を男性が占めているのに対し、**15-19歳では72.2%、20-24歳では51.5%を女性が占めています。**

〈平成18年1月1日現在 厚生労働省エイズ動向委員会報告発表〉

# 当院における新規HIV/AIDS症例数の推移



2008年の特徴：HIV感染妊婦、外国人(ブラジル・ギニア)  
結核性髄膜炎の死亡例、20代前半の若年者

**Q 「HIVに感染したお母さんから生まれた赤ちゃんは、100%感染してしまうんですか？」**

昨年1年間に  
53万人もの子どもたちが  
HIVに感染しました。  
そのほとんどが  
誕生前後にお母さんから  
感染しています。

HIVに  
感染した赤ちゃんの  
2人に1人が、  
2歳になる前に  
死んでいます。

なぜ病気に  
なったのかも知らず、  
何の言葉も残さずに  
消えていく命。

子どもへの感染を  
防ぐ方法が  
あるにも関わらず、  
HIVに感染している妊産婦の  
90%以上が、  
その恩恵を受けることが  
できません。

**A**

**「いいえ。何もしなければ、  
HIVの母子感染率は  
約30%。きちんと対策を  
取ることができれば、  
2%にまでおさえることが  
できるんです」**

ユニセフ・ベトナム事務所 田中愉子  
田中さんとのインタビューは次ページから。



何もしなければ、4人に1人

AZT予防内服すれば、12人に1人

AZT+3TC予防内服すれば、50人に1人

HAART(3剤) 予防内服すれば、100人に1人も感染しない





# HIV 学術講演会

謹啓 時下皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、下記の要領にて HIV 講演会を開催致します。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますよう、ご案内申し上げます。

謹白

記

【日時】 平成 20 年 7 月 8 日(火) 18:00～19:30

【場所】 川崎医科大学附属病院 本館 7 階 図書館小講堂

倉敷市松島 577 TEL. 086-462-1111

特別講演

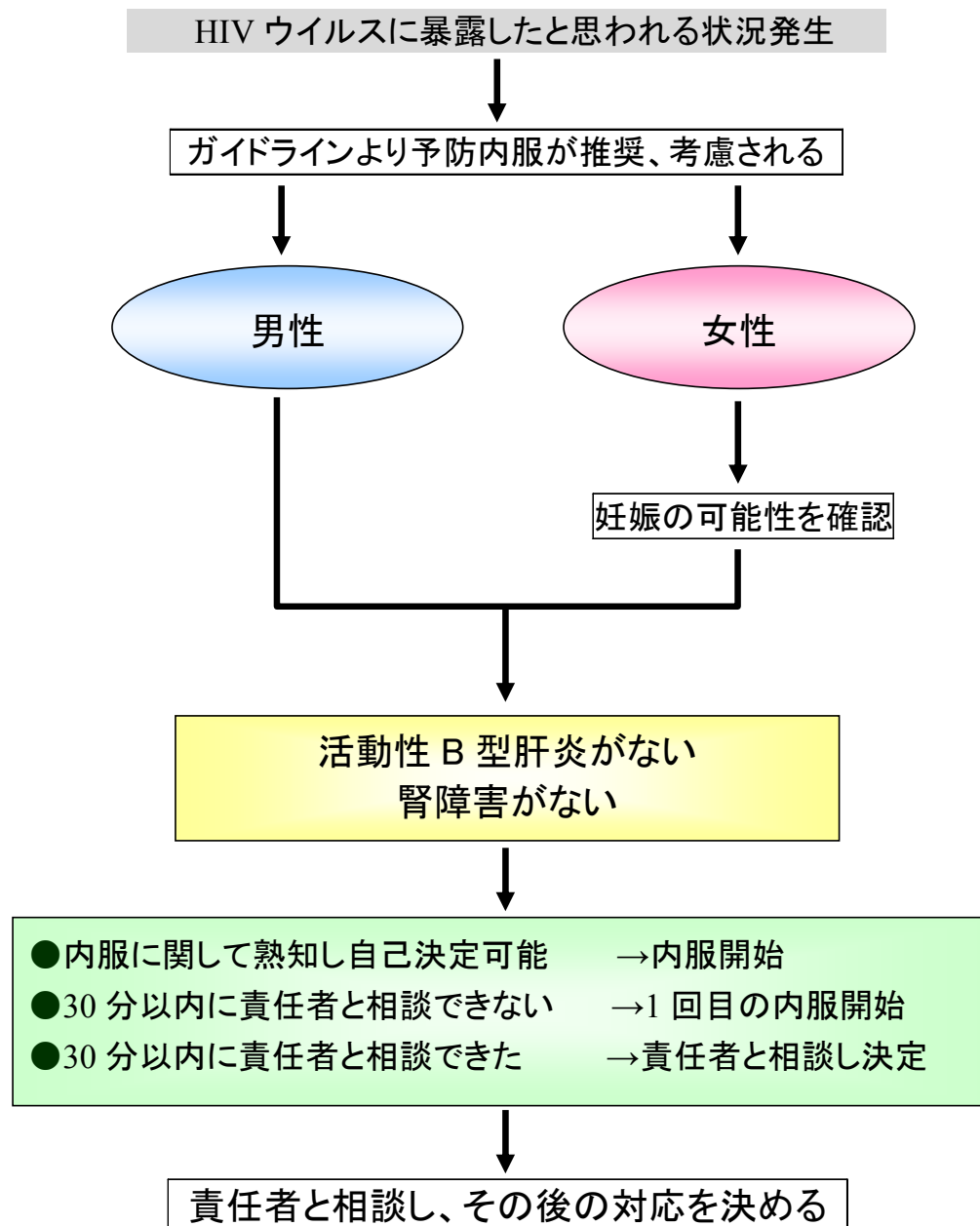
座長 川崎医科大学 血液内科 教授 和田 秀穂 先生

『当院における HIV 感染妊婦の出産経験について』

独立行政法人 国立病院機構 関門医療センター  
産婦人科 医長

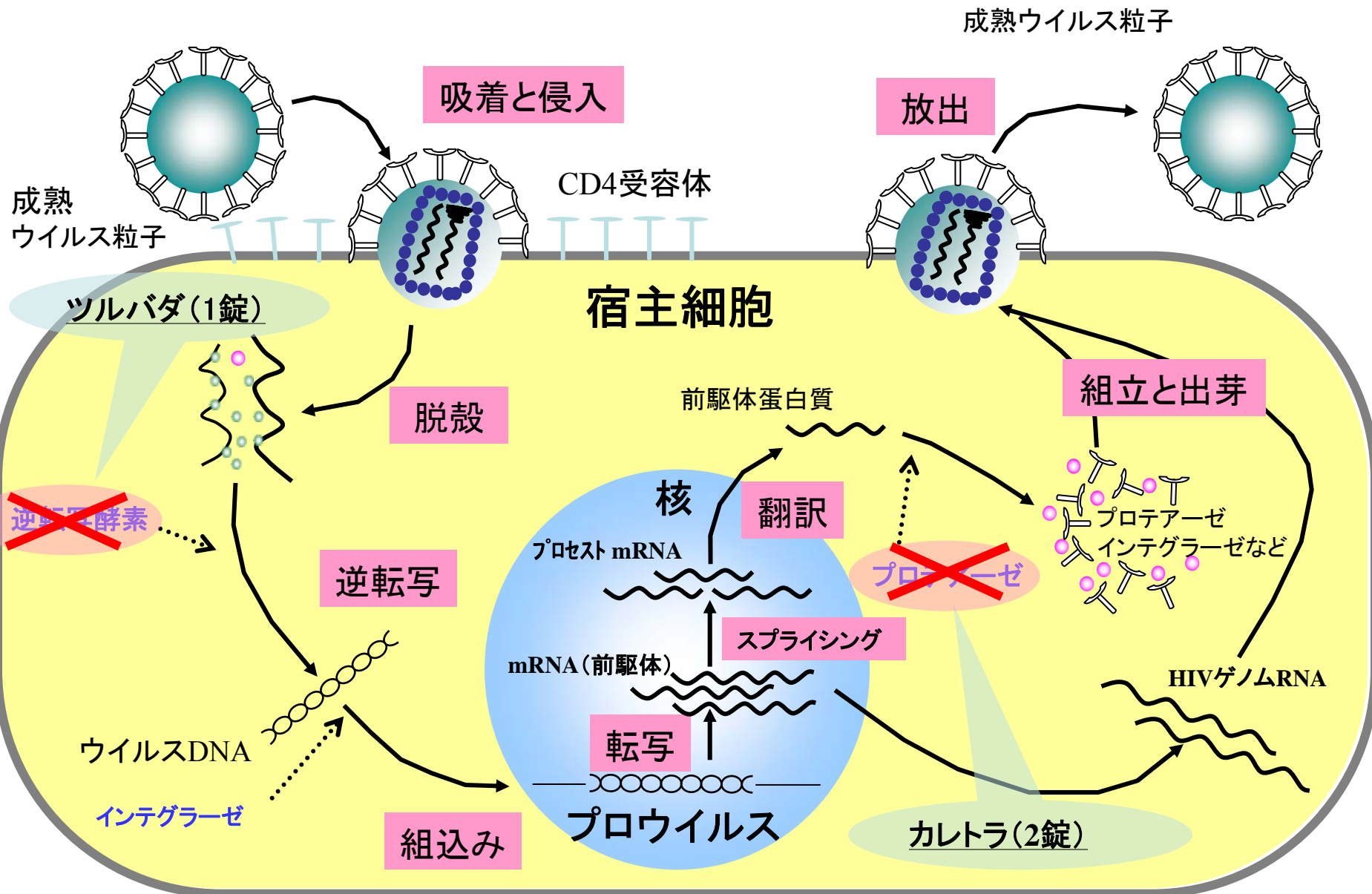
林 公一 先生





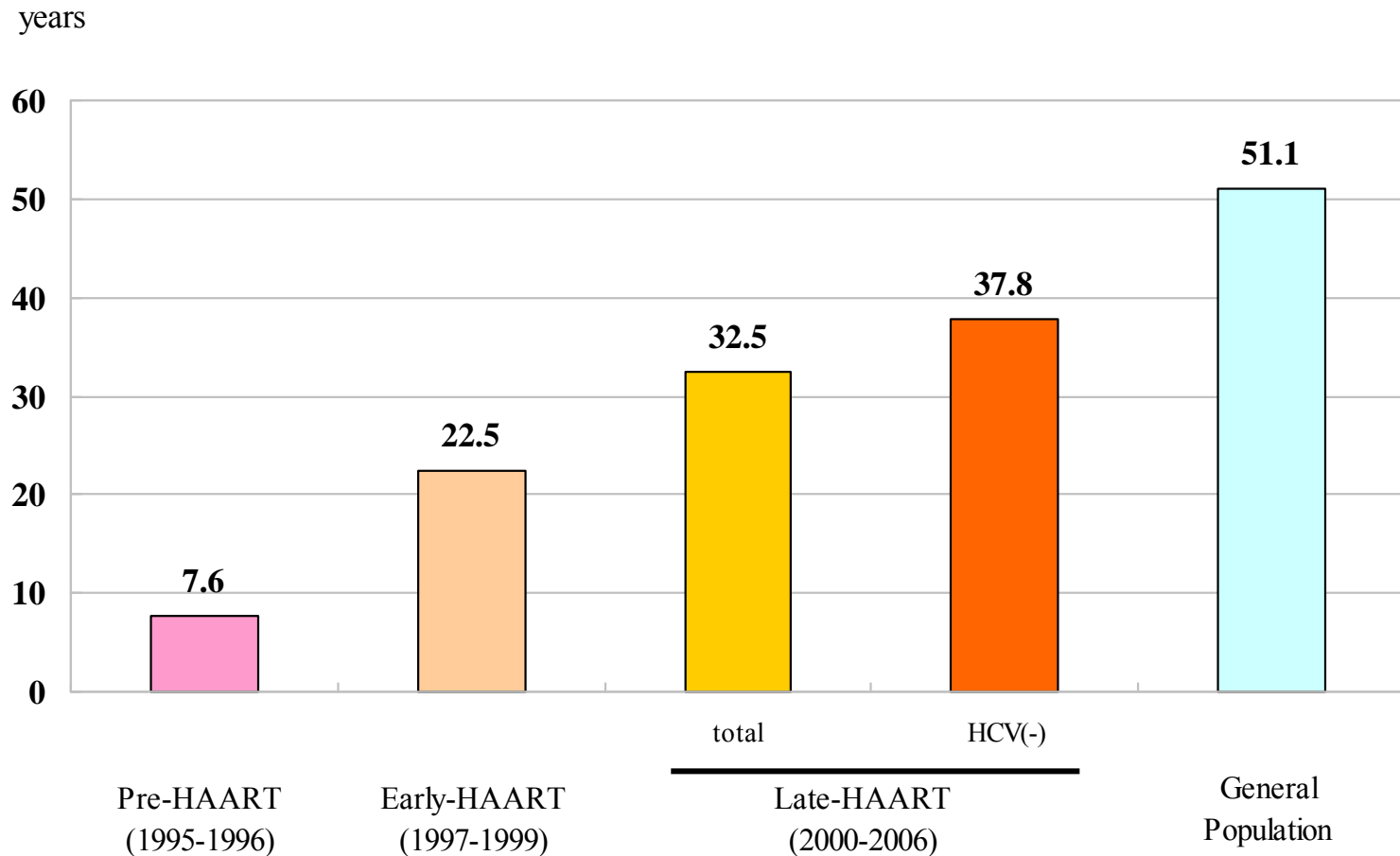


# HIVの増殖サイクル



# 25歳のHIV感染者の推定平均余命

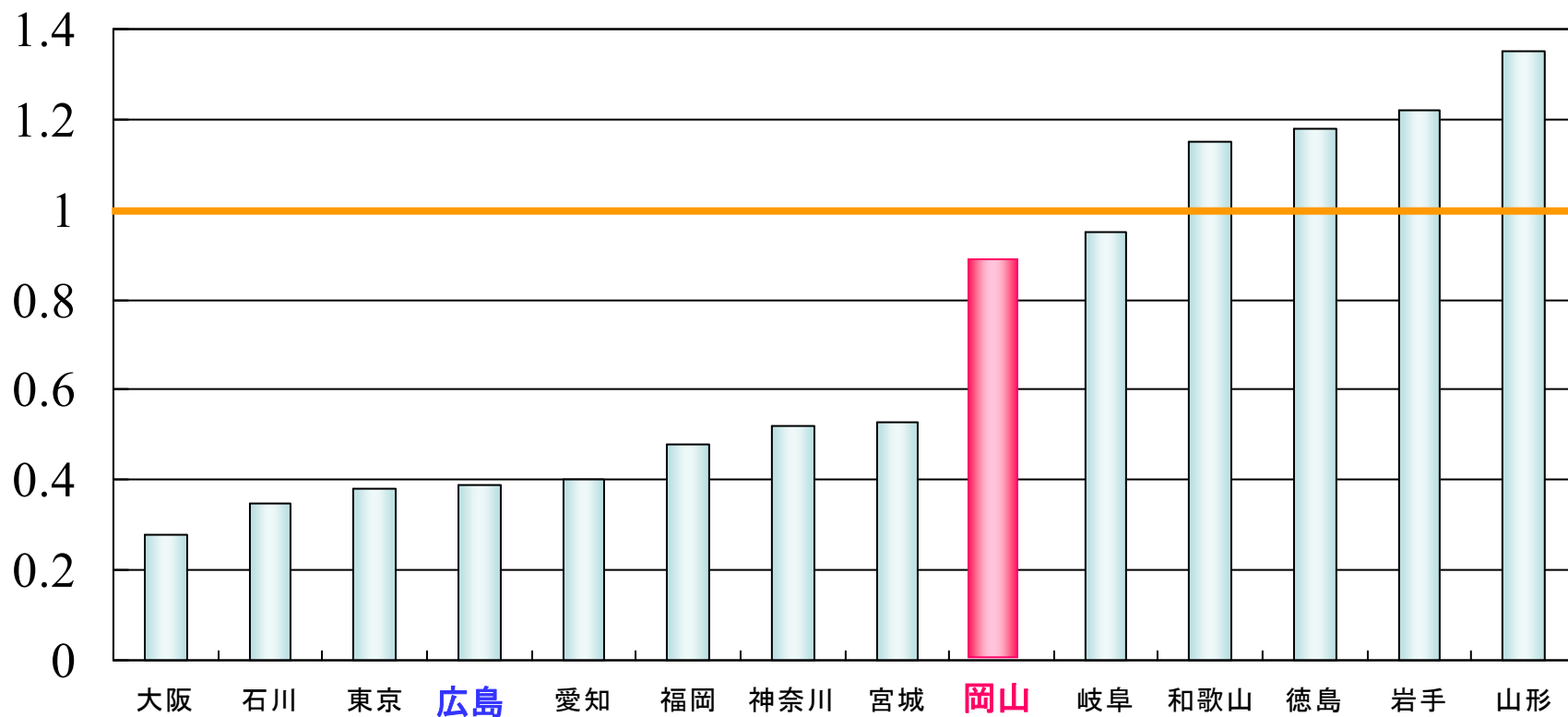
(Denmark Cohort)



**HAART : Highly Active Anti-Retroviral Therapy**



# 都道府県別AIDS/HIV比



# 岡山県の現状と課題

## 特徴

- 10の拠点病院すべてが、HIV/AIDS診療に実際に携わっている。
- 初期から岡山HIV診療ネットワークが活動し、連携体制がすでに構築されている。
- 医療機関や行政関係者に、熱心な医師、看護師、薬剤師、心理相談員、MSWなどがいる。

## 課題

- 歯科診療所との連携が出来ていない。
- 難治例、重症例、終末医療の経験不足。

## 平成20年度の目標と予定

- 第86回岡山HIV診療ネットワーク（7月26日）  
「HIV陽性妊婦受け入れ体制の現況と問題点」  
国立病院機構九州医療センター：蓮尾先生
- 第87回岡山HIV診療ネットワーク（9月23日：祝日）  
「広島県でのHIV歯科診療体制の実際」  
広島大学歯学部：吉野先生



# HIV感染症の現状まとめ

- HIVは爆発的に増加している。
- 平均年齢は比較的高く、年齢で本疾患は否定できない状況。
- AIDSを発症してからHIVが感染されているのが多い。  
→予後の改善、および疫学的にも早期診断が必要。

プライマリ・ケア医による積極的なHIV検査の実施による早期診断が今後の重要な課題。

ご清聴ありがとうございました m(\_\_)m



レッドリボンとは、エイズに関して偏見を持っていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージを表しており、エイズに対する理解と支援の象徴である